

みずほCustomer Desk Report 2023/04/13号 (As of 2023/04/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	133.74
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.59	1.0918	145.86	1.2429	0.6654
SYD-NY High	134.04	1.1000	146.65	1.2496	0.6722
SYD-NY Low	132.74	1.0913	145.83	1.2400	0.6649
NY 5:00 PM	133.20	1.0991	146.34	1.2485	0.6694
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,646.50	▲ 38.29	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	11,929.34	▲ 102.54	日本10年債	0.4600%	0.0100%
S&P	4,091.95	▲ 16.99	米国2年債	3.9662%	▲0.0647%
日経平均	28,082.70	159.33	米国5年債	3.4642%	▲0.0699%
TOPIX	2,006.92	15.07	米国10年債	3.3990%	▲0.0319%
ソコ日経先物	27,990.00	▲ 95.00	独10年債	2.3575%	0.0585%
ロンドンFT	7,824.84	39.12	英10年債	3.5590%	0.0230%
DAX	15,703.60	48.43	豪10年債	3.2650%	0.0400%
ハンセン指数	20,309.86	▲ 175.38	USDJPY 1M Vol	11.45%	▲0.65%
上海総合	3,327.18	13.61	USDJPY 3M Vol	10.87%	▲0.35%
NY金	2,024.90	5.90	USDJPY 6M Vol	10.69%	▲0.21%
WTI	83.26	1.73	USDJPY 1M 25RR	▲1.53%	Yen Call Over
CRB指数	275.73	1.00	EURJPY 3M Vol	10.61%	▲0.23%
ドルインデックス	101.50	▲ 0.70	EURJPY 6M Vol	10.65%	▲0.16%

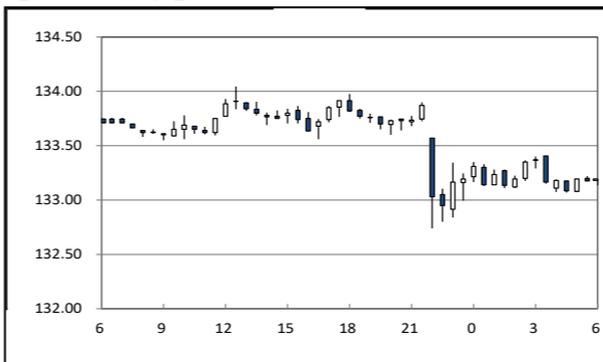
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月12日	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	3月 0.1%/5.0%	0.2%/5.1%
	21:30	米 CPI除食品・エネルギー(前月比/前年比)	3月 0.4%/5.6%	0.4%/5.6%
4月13日	03:00	米 FOMC議事録	2月 「多くの当局者がFF金利誘導目標を下方修正へ」	

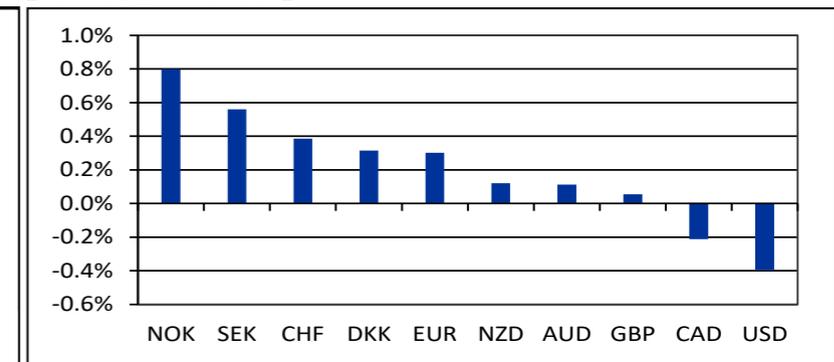
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月13日	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	3月 20.0k/3.6%	64.6k/3.5%
	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.2%/-3.7%	-0.3%/-4.3%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	2月 0.2%/-4.5%	-0.4%/-5.2%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.8%/7.4%	0.8%/7.4%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 1.0%	0.7%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	8-Apr 235k	228k
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	3月 0.0%/3.0%	-0.1%/4.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.50-133.80	1.0900-1.1050	145.00-147.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は米CPIの結果を受けて下落。東京時間133.59でオープンし、クロス円の上昇にサポートされ、一時134.04を付ける場面も見られたが、米3月CPI発表待ちで様子見ムードが強く、積極的な取引は手控えられ、その後は小幅反落し133円台後半でもみ合い推移。海外時間では、注目の米3月CPI(前月比)が予想を下回り、市場はドル売りで反応し、132.74まで急落。しかし、米3月コアCPI(前月比)が予想通りとなり、インフレが予想以上の減速を示さなかったことから、次第に買い戻し優勢となり133円台半ばまで戻す。その後米3月FOMC議事録が公表され、「多くの当局者がピーク金利見直しを引き下げ」とのヘッドラインが伝わると、ハト派色の強い内容を受け133円台丁度付近まで売り戻される。その後は次第に動意乏しくなり、133.20レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半の狭いレンジで推移し1.0923レベルでNYオープン。朝方は米3月CPIの結果を受け、ドル売り地合いが後押し1.09台後半まで急伸するも、1.1000レベルでの心理的節目を意識する利益確定の売りなどが重しとなり1.0970台まで反落。午後は2か月ぶりに1.10台に付けたが、上値重い展開が続き、小幅反落。その後は高値圏での小動きが続き、結局1.0991レベルでクローズ。

本日のドル円は弱含む展開を予想する。昨日の米CPIの結果を受けたドル売りが継続すると想定されるも、コア指数が予想通り前月比増加したことや、米国時間にすでに買い戻しが入っていたことを鑑みると、下値は限定的となる。米金利の動向をにらみつつ、方向性を探る展開となるか。海外時間に米PPIの発表などが予定されており、結果に留意したい。

東京	東京時間のドル円は133.59レベルでオープン。ユーロ円が昨年12/20以来の高値を更新し、株式市場が堅調推移するなかクロス円の買いが継続してドル円は134.04まで上昇。本日発表を控える米CPIを前にドル円は133円台後半に値を戻し、133.74レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.74レベルでオープン。午後に米3月CPIを控え方向感ない推移。ほぼ変わらずの133.75レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2436レベルでオープン。ポンドはやや上値重い推移。労働市場に関する調査結果が出され、賃金上昇に鈍化がみられたことを材料に挙げる向きもあった。一時1.2400まで下落し1.2405レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は133円台後半でスタート。クロス円の上昇にサポートされ、一時134円台を付ける場面も見られたが、米3月CPI発表待ちで様子見ムードが強く、積極的な取引は手控えられ、その後は小幅反落し133.75レベルでNYオープン。朝方は注目の米3月CPI(前月比)が予想を下回り、市場はドル売りで反応し、132.74まで急落。しかし、米3月コアCPI(前月比)が予想通りとなり、インフレが予想以上の減速を示さなかったことから、次第に買い戻し優勢となり133円台半ばまで戻す。午後は米3月FOMC議事録が公表され、「多くの当局者がピーク金利見直しを引き下げ」とのヘッドラインが伝わると、ハト派色の強い内容を受け133円台丁度付近まで売り戻される。その後は次第に動意乏しくなり、133.20レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半の狭いレンジで推移し1.0923レベルでNYオープン。朝方は米3月CPIの結果を受け、ドル売り地合いが後押し1.09台後半まで急伸するも、1.1000レベルでの心理的節目を意識する利益確定の売りなどが重しとなり1.0970台まで反落。午後は2か月ぶりに1.10台に付けたが、上値重い展開が続き、小幅反落。その後は高値圏での小動きが続き、結局1.0991レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・松木